

「灯せ！心のバトン」体育祭が開催されました

6月18日（土）。令和4年度の体育祭を開催しました。昨年度は感染症拡大防止の観点から体育祭の開催は秋でしたが、今年度は春の開催、『灯せ！心のバトン』のスローガンを掲げ、生徒一人一人の力が十分に発揮される体育祭となりました。

中学校での初めての体育祭を経験する1年生はとにかくひたむきで一生懸命な姿勢、エネルギー溢れる2年生は一体感のあるラジオ体操やバトンパス、最上級生3年生は自信と誇りを胸に、すべてに全力投球する姿が特に輝いていました。3年生が真剣な姿で、正々堂々と立ち振る舞うその姿勢にあこがれ、1年生や2年生が継承していくという上原中の伝統を大切に、これからの学校生活でも一致団結していきましょう。



甲州市のぶどう畑とオンライン通信



2年生は7月6日から2泊3日の予定で「甲斐の国 校外学習」に出かけます。その目的は○集団生活を通じて、他者を思いやる気持ちや協力することの大切さを学ぶ ○野外活動を通じて自然環境に興味関心をもち、自分たちが住んでいる渋谷区の良さ、山梨県の良さを調べる ○農業体験を通じて、生産者の苦労を経験し、食べ物の貴重さを実感する の3点です。実際に現地へ行く前に、自分たちがどんな環境で、どんな農業実習にあたるのか知るため、6月24日（金）の総合的な学習の時間の中で、甲州市のぶどう畑と中継を結び、各教室でオンライン事前学習に取り組みました。ぶどうの袋かけの手順など分かりやすく教えていただいたので、体験実習の内容がイメージできたことと思います。「なぜ山梨県は果樹の栽培に向いているのか？」等、いくつか宿題も出されました。7月に山梨県を訪れる前に、学習を積み重ねていきましょう。

熱中症予防とマスク着用について

厚生労働省・文部科学省から「学校生活における児童生徒等のマスク着用について」という文書とリーフレットが通知され、これを受け「渋谷区立園学校 感染症予防ガイドライン」が改訂されました。夏季は熱中症の危険が非常に高まることから、教育活動についても熱中症予防に努めることを優先するものとし、学校生活におけるマスクの着用について以下のように示されています。

- 十分な身体的距離(2m以上)が確保できる場合やほとんど会話を行わない場合は、屋内でもマスクの着用は必要としないこと。
- 気温や湿度が高い時はマスクを外すこと。
- 体育の授業・運動部活動においては、マスクの着用は必要ないこと。
- 登下校中は、マスクの着用は必要ないこと。(ただし会話は控えること)

学校では、外での活動や体育の授業等、熱中症のリスクが高いと判断した場合には、マスクを外して参加するよう教員が積極的に声をかけ、熱中症の予防に努めてまいります。各ご家庭におかれましても、熱中症の危険について改めてお子さんにお話しいただき、適切に判断してマスクの着脱を行うよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策

子どものマスク着用について

人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合においては、マスクを着用する必要はありません。また、就学前のお子さんについては、マスク着用を一律には求めていません。

目安 2m 以上

就学児について (小学校から高校段階)

マスク着用の必要がない場面

屋外

- 人との距離が確保できる場合
- 人との距離が確保できなくても、会話をほとんど行わないような場合
- 例> 離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び
- 例> 屋外で行う教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内

- 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合
- 例> 個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活

屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際に運動部活動において距離を伴う活動を行う場合には、各家庭が作成するガイドライン等を確認しましょう。

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を改めて感染対策を徹底しましょう。